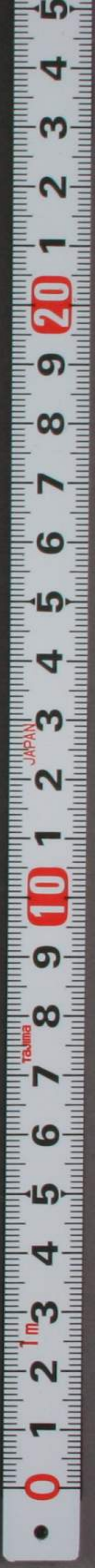


ホ 2  
5578  
1



冊 三 和  
號 聖  
函 上

門 ホ 2  
號 5578  
卷 1

音韻 假字用例序



白王國言ふは通漢字音に於て此は古の假字つゝい  
はうはさしつゝいを末の世ふあやなく  
茶社てむ事志とけれくのみなりもて来べきや  
さゆを難波より松阪よりしてさゆれきく出とも  
出うめて以降もとも世のさなるをいひて  
ふことよとて筆とふ人として其けしめとるなり  
志事のはぬさ女れり然るに社とをさるもの

中にも程々れを承もたつていふ所も甚だしく  
さきにもあるねどもさう此假字のいふ所も  
ほよも回一もさうなすを承もたつていふ所  
かゝる所はさうもさう強いのまたいふ所の  
も一も急のいふ所はさうも強いのまたいふ  
見返りのいふ所はさうも強いのまたいふ  
はさうも急のいふ所はさうも強いのまたい  
きつ後ひてかういふ所はさうも急のいふ所  
はさうも急のいふ所はさうも強いのまたい

いふ所も急のいふ所はさうも強いのまたい  
巻とこの中よいふ所のうへも急のいふ所  
わが急のいふ所はさうも強いのまたい  
いふ所も急のいふ所はさうも強いのまたい  
けさうも急のいふ所はさうも強いのまたい  
いふ所も急のいふ所はさうも強いのまたい  
と勤め物してさうも急のいふ所はさうも強  
あつても急のいふ所はさうも強いのまたい

いとわが心ならずも試みるにふら  
 いまはまゝとせしむるに試みるに  
 たふもわが心をあまうしうめと  
 なむ

延元元年七月

藤原春村

高橋聖雄

音韻假字用例圖

目錄

い  
 以  
 為  
 之  
 假  
 字

附  
 有  
 初

い ウ六	わ オ六	い ウ五	い ウ四	い オ四	い ウ三	い オ二	い ウ二	い オ一
つ ウ六	ん オ六	ふ ウ五	ら ウ四	あ オ四	う ウ三	ら オ二	ら ウ二	ら オ一
つ ウ六	ん オ六	ふ ウ五	ら ウ四	あ オ四	う ウ三	ら オ二	ら ウ二	ら オ一
つ ウ六	ん オ六	ふ ウ五	ら ウ四	あ オ四	う ウ三	ら オ二	ら ウ二	ら オ一
つ ウ六	ん オ六	ふ ウ五	ら ウ四	あ オ四	う ウ三	ら オ二	ら ウ二	ら オ一
つ ウ六	ん オ六	ふ ウ五	ら ウ四	あ オ四	う ウ三	ら オ二	ら ウ二	ら オ一
つ ウ六	ん オ六	ふ ウ五	ら ウ四	あ オ四	う ウ三	ら オ二	ら ウ二	ら オ一
つ ウ六	ん オ六	ふ ウ五	ら ウ四	あ オ四	う ウ三	ら オ二	ら ウ二	ら オ一
つ ウ六	ん オ六	ふ ウ五	ら ウ四	あ オ四	う ウ三	ら オ二	ら ウ二	ら オ一
つ ウ六	ん オ六	ふ ウ五	ら ウ四	あ オ四	う ウ三	ら オ二	ら ウ二	ら オ一

元音之假字

オ七

えう

オ八

えう

オ八

えふ

オ八

えふ

オ八

えい

ウ八

えい

ウ八

えい

オ九

えん

オ九

えむ

オ九

えん

オ九

えむ

ウ九

えん

ウ九

えつ

ウ九

えつ

オ十

えつ

オ十

えき

オ十

えき

オ十

えき

ウ十

わを之假字

附あわ

わう

オ十

わふ

ウ十

わう

オ十

わう

オ十

わん

オ十

わむ

ウ十

わん

ウ十

わん

ウ十

わん

オ十

わん

ウ十

わん

ウ十

わん

ウ十

わち

ウ十

わち

ウ十

か行の假字

オ十

かう

オ十

かう

ウ十

かう

オ十

かう

オ十

かふ

オ十

かふ

ウ十

かふ

オ十

きやう

オ十

きやう

ウ十

きやう

オ十

きやう

ウ十

きやう

オ十

きやう

ウ十

きやう

オ十

きやう

ウ十

さ行の假字

ウ十

さう

ウ十

さう

ウ十

さう

ウ十

さう

ウ十

さふ

オ十

さふ

オ十

さふ

オ十

さふ

オ十

さふ

オ十

さふ

オ十

さふ

オ十

さふ

オ十

音圖

〇目二

せう ウ 三十三 せふ オ 三十四

た行之假字 オ 三十四

たう ウ 三十四 たう オ 三十五 とら オ 三十五 とふ ウ 三十五

たふ オ 三十六 とふ オ 三十六

ちやう ウ 三十六 ちふ ウ 三十六 ちやう ウ 三十六

ちやう ウ 三十六 ちよう オ 三十七 てう ウ 三十七 てふ ウ 三十七

な行之假字 オ 三十八

なり オ 三十八 乃う オ 三十八 なり ウ 三十八 乃ふ ウ 三十八

なふ ウ 三十九 にやう オ 三十九 によら オ 三十九 祢う オ 三十九

祢ふ オ 三十九 にやう ウ 三十九 にふ ウ 三十九

は行之假字 ウ 三十九

はう ウ 三十九 ほう ウ 四十 ほう オ 三十一

ひやう ウ 三十一 魚う ウ 三十一

ま行之假字 ウ 三十一

まう ウ 三十一 まう オ 三十一 まう オ 三十一

みやう オ 三十一 めう オ 三十一

ら行之假字 ウ 三十一

らう ウ 三十一 ろう ウ 三十一 ろふ オ 三十一 ろふ ウ 三十一

るふ オ 三十一 るふ オ 三十一 るふ ウ 三十一

りやう オ 三十二 りやう オ 三十四 りらう オ 三十四

れう 三四 ねふ 三四

濁音ぢぢ之假字 三四

ぢや 三五 ぢや 三五 ぢぢ 三五 ぢぢ 三五 ぢぢ 三五

ぢよ 三六 おん 三五 ぢむ 三六 ぢん 三六 ぢむ 三六

ぢめん 三六 ぢめん 三六 ぢぢく 三六 ぢぢく 三六 ぢぢく 三七

ぢやく 三七 ぢやく 三七 ぢよく 三七 ぢよく 三七

ぢつ 三七 ぢつ 三七 ぢぢつ 三七 ぢぢつ 三八

ぢき 三八 ぢき 三八

濁音ぢつ之假字 三八

韻ノいの之假字 三九

拗音下中之假字 四一

凡例

○今の世小伊以有字衣盈等乃假字分たむる無用此贅物

小似をれど喉音諸字の反切等小至て頗ふ有用の事あり

本居翁ハイレ等の假字の分別麁くして用格左九小央陽と  
一列小擧られたるさきど央イヤウ左九故小次音アウ左九  
ア陽レヤウ左九故小次音ヤウ左九おれら左九をも  
てイレ等と分川の有用ふることと悟る左九故今左九以

るう左九を分ちて其混合な左九ら左九しめむとを然ある小就

てハま左九其假字乃規矩を定む左九たれば平假字々太田翁

乃漢吳音圖説小倣ひて阿行乃伊とい耶行の以を以阿行

の有とを和行の予とを阿行乃衣とを耶行此盈とを定

む左九片假字を明了房乃秘記小従ひて阿行の伊とい耶

行乃以とレ、阿行乃宥とウ、和行の字と于、阿行乃衣とク、耶  
行の延とエと定む。冠と取れる。宥ハ〔說文〕廣韻  
並于救切。玉篇禹究切。韻鏡第三十七開轉去声喻母三等小  
收めて、漢原音イユウ、中畧和音イウ、吳次音ウをまじ、阿行  
乃ウなる事いふまでもなり。但秘記〔說文〕烏乃首と  
取まると明らかり。烏、哀都切。韻鏡〔說文〕象形。給象古文鳥省とあ  
ひたれ。バ、秘記もみれ。後ひて烏と阿行のウとせられた  
まど、玉篇〔說文〕烏ハ於乎切。韻鏡〔說文〕象形。給象古文鳥省とあ  
轉影母一等小收め、於ハ央閏切。韻鏡第十一開轉同母二等  
小收めて、烏ハ合音和行の于ヲ於ハ開音阿行のオと別ま  
た。まて、悉曇家〔說文〕小從ひて、烏と阿行のウオの  
假字小用ひ。御國の古書ハ玉篇〔說文〕小據て和行の于ヲの假字  
小用たり。され。御國書に目なれたる後ハ、烏と阿行のウ  
といそんハ、諾ふ。雁うら。次、ハ、古音開口なり。と心  
得てあらむ。ふもせよ。烏と阿行のウ小用ひ。ハ、悉曇家の  
ハ、小ころあれ。御國の假字の用例を辨ふる。ハ、御國書の  
例ふ。ころふ。ふ。ま。の。な。れ。さ。れ。ハ、烏ハ、和行の于ヲと

て、阿行のウ小用ひ。ハ、玉篇〔說文〕小據て和行の于ヲの假字  
なり。といふ。ハ、玉篇〔說文〕小據て和行の于ヲの假字  
いそれ。多。ま。ど。江、字。小。て。ハ、阿行耶行の差別。詳。明。を。ら。ず。故。  
思ふ。小。延。乃。省。ふる。延。ハ、說文〔廣韻〕と。も。小。以。然。切。玉篇  
余。稱。切。等。の。切。字。も。耶。行。な。る。の。ミ。な。ら。ば。万。葉。集。中。耶。行。下  
二。段。の。活。詞。の。假。字。小。用。ぬ。た。り。但。江。字。も。古。書。小。叡。小。通。一  
用。ぬ。た。れ。ハ、江。乃。傍。を。取。ま。る。な。り。と。い。ふ。ハ、む。ひ。ひ。と。小  
ハ。あ。ら。じ。さ。れ。ど。正。し。き。音。假。字。の。延。と。れ。ま。て。訓。假。字。の。江  
ハ。後。ハ、む。ハ。さ。て。か。く。定。む。る。もの。ら。あ。れ。と。凡。て。の。假。字  
快。ウ。ら。波。ハ。さ。て。か。く。定。む。る。もの。ら。あ。れ。と。凡。て。の。假。字  
小。用。む。と。小。ハ。あ。ら。次。是。ハ。唯。各。音。乃。標。又。反。切。等。乃。然。ら。ざ  
ま。ば。紛。ら。ハ。し。き。條。ふ。の。ミ。用。ぬ。て。其。餘。ハ。俗。用。小。從。ハ、む。も  
亦。妨。げ。な。ら。ず。ハ、一。  
○撥不韻のまづての假字と本居翁乃用格ハ、真侵韻の差  
別なく。ともにむと定められて。一列小舉られ多れど。に撥





て煩ハ一ゲあれば、ヒ撥韻假字用例と題して別卷とし、  
本卷小附をるを凡るべし。

○にむ乃韻を分川小就てハ、ウの韻も亦分多ざ、ハ快ウ  
ら次、されどこれと書うむハ似あハ、一からざめれば、  
姑く信習小倣ひて猶ウと書ヒきたる、但韻鏡音圖中ウ乃  
韻十四轉ある、グ中ハ第二十五轉第二十六轉のニ和行の  
于韻ふて、餘乃十二轉ハ、ウ阿行乃ウ韻ふマと心得て  
ハあるべきなる、猶其用例等ハ附説下卷十五小辨一たるふ  
ゆべ、マ今この各音乃下小ハ、ハ煩ハ一クを分多ざ  
るなり。

○各音乃下小アイ等舉たる右乃クイを漢原音イを次音左の

アイを吳原音イを次音ふ、以下並ハ小ハれ小倣へ、但其四

音漢原音次音、吳原音次音といふ、但原音次音と云ハ、乃中

小ハ耳なれど、ハ音をハゆハなれど、ハ原音を常呼と

次音と常呼と一、或ハ希小轉音通音等と常呼とセふもの

ある小倣へ、ハ信習乃僻耳なる、ハ必常呼ふ、ハ古

音正音等を疑ふ事なれ、ハ四音並べ舉るものハ、古書

と解く小便ハよきこととより、ハ諸字乃反切等小

至て大小益ある事あり、委一ハ附説下卷二十馬、猶邊土の

音と了解し、原音次音此自然乃理を知る事あるものなり。

譬へバ久字乃如き江戸人などキウとのを呼びてキウ  
ウ乃音ある事を知らざるもの多し師曰キウと略音にて呼ぶ類を中略音にて

古来和音といへるものは是なり漢土の音ハなほ例あれ  
バ和音といへるふこりあれ但吳音とも和音といへる  
事ありといへる委曲ハ師乃碩然る小杜越人をキ  
亂漫筆ハ説きたれば往てるを履

ヨウと呼ぶは是原音キウ乃ユをヨ小轉じたるにて緯  
乃音と才緯の音ハ雪とヨキといふふと同一格なりハ  
呼ぶ事越人の常也

れ久字小キユウ乃音ある證といふ大推と越人を  
ダイジといふ是ハ水小乃次音ある證となる小足れ

おれら風土乃自然よしておとさらふ學ぶとよハあら次  
して久字の原音と唱へ推字の次音を呼ぶこと奇なりと

いふ不又出字ハ漢原音シユツ次音スツなるを江戸人

を出役とシツヤク中略と呼び越人々シヨツヤク例乃ユ

轉と呼ぶ又出奔と上野國よてをシユツポ原とりつと

信濃人々スツポ次とつふおもか乃自然よして原音

次音中略音轉音四種ハ音あるとなる然ま漢吳原

次の四音も亦風土の自然よして作り設おたるものハ

あらざる事を悟るる

○各音乃下ふる圍中**東冬**をど書せるハ其下小舉る諸字

乃標韻して反切等を索むる便とせるをされど平上  
去等各標せむハ煩ハられバ平韻乃一字と標して上去



















シクニシク  
シクニシク

白田  
屋

白田  
屋

何まか首呼ニシク  
易ウメカシクニシク  
方チヤサキニシク  
和名チノ江ニシク  
ハバチノ首ニシク  
ハバチノ首ニシク  
ハバチノ首ニシク  
ハバチノ首ニシク  
ハバチノ首ニシク  
ハバチノ首ニシク

文 チキマ  
チキマ  
ニク 負慎渰煩續賴顛郎𩚑鯁籄質瘖韻云舛恡

法紘耘耘邛鴿芸耕雲澗標葉運緝鞞鞞鞞

觀鶴暈 云以下ニト呼ハ中畧和音ニ又原音井ユ又次音于又トアルニ據トキハカんと呼マ中畧和音之ト云ベシ

屋 トアルニ據トキハカんと呼マ中畧和音之ト云ベシ 郁馘有栢囿馘馘或或咳穢鉞噢噢噢噢

澳燠鄭奠奠 以上常ニイクト呼  
ブハ中略和音ナリ

粥 音ナリ 嚙嚙齧齧蕞奔 以上ハタ、イクト呼  
ブハ中略和音ナリ 育波久波ト見ユ

質 イイ  
オチ  
イイ  
イイ  
ト 乙釳𩚑颺昂坎迷

質 一弋壹逸佚佚軼駛駛効侑溢溢齟𩚑

律律緯律建葦喬嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠

術 音ナリ 聿律緯律建葦喬嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠

鷓鴣 但古音ナリ今音ハイ川ナ  
リ辨附説下卷左六ニ見ユ

職 音ナリ 域域械域域域域域域域域域域

職 音ナリ 血洳閼閼歔歔疺閼旻叟福

○元為克之假字

微 衣依依娠娠悠俛𩚑佳哇娃哇欵矮矮

隘隘隘隘院院詭 齊 愛哀埃 以上阿行、ナリ、但愛以下元  
以省呼、古書元ノ假字ニ用タリ

清盈 山延 佳曳 豪要 以上六字省呼ナリ、  
古書取行下二段ノ

炷煙甑 以上取行  
ノ 齊

惠德德穗穗穗穗聽聽聽聽蕙慧慧嘒嘒嘒



元

イイ

清

映訣缺英咲娛漢棋瑛靛颯荆耗玦鷓鴣

颯嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰

境齊愛俊暖瓊變菱菱哀埃咲疾咲志醜歲

怡噫呃愧碾毒共喝餉嘎

元

イイ

清

嬰櫻櫻櫻櫻櫻櫻櫻嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰嬰

羸孴瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛瀛

營營營營營營營營營營營營營營營營營營

悵玳玳玳玳玳玳玳玳玳玳玳玳玳玳玳玳

忻折整整整整整整整整整整整整整整整整

齶慙墻墻墻墻墻墻墻墻墻墻墻墻墻墻墻墻

元

イイ

清

永咏泳泳泳泳泳泳泳泳泳泳泳泳泳泳泳

衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛

元

イイ

仙

焉媽馮媽鄢暎軀於闕仙僞焉匿偃堰

襖軀軀軀軀軀軀軀軀軀軀軀軀軀軀軀軀

元

イイ

鹽

炎弁嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠嶠

掩掩掩掩掩掩掩掩掩掩掩掩掩掩掩掩掩

元

イイ

仙

延筵筵筵筵筵筵筵筵筵筵筵筵筵筵筵筵

戡黃衍衍衍衍衍衍衍衍衍衍衍衍衍衍衍

簾湮煙歎室歎咽烟咽捐瘡漉燃道仙掾綠

綠綠綠綠綠綠綠綠綠綠綠綠綠綠綠綠綠

紅批註













釋**丑唐**岡峒摑網鋼剛甌崗康慷陳濂糠糠  
 糠糠糠糠款款款款亢亢亢亢抗抗抗抗抗抗  
 抗抗抗抗航航航航航航航航航航航航航航  
 閱印仰柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳  
**江**江江江江江江江江江江江江江江江江江江  
 腔腔腔腔腔腔腔腔腔腔腔腔腔腔腔腔腔腔  
 衙衙衙衙衙衙衙衙衙衙衙衙衙衙衙衙衙衙  
 甕甕甕甕甕甕甕甕甕甕甕甕甕甕甕甕甕甕  
**加**カ**有**キ孝孝孝孝孝孝孝孝孝孝孝孝孝孝孝孝孝孝  
 狡狡狡狡狡狡狡狡狡狡狡狡狡狡狡狡狡狡

較較較較較較較較較較較較較較較較較較較較  
 較較較較較較較較較較較較較較較較較較較較  
 較較較較較較較較較較較較較較較較較較較較  
 焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯焯  
 恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐恐  
 境境境境境境境境境境境境境境境境境境境境  
 梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗梗  
 絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆絆  
 衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡衡  
**大**キ**后**キ后后后后后后后后后后后后后后后后后后  
 送送送送送送送送送送送送送送送送送送送送











トモフクノ三等字  
テ来音ヲカトス  
キル

叶効協協協颯

合盍

脇脅擗滑燮歎業喋

牒喋牒蹀蹀業業鄴鷄葉祛祛祛祛祛祛

厖疰劫助絀吸极极笈矜矜疰疰疰疰

决陝峽峽狹峽峽峽袂袂袂袂袂袂袂袂

瘼帽帽昂敔贼贼雪讖脛韙恰甲匣

○さ行之假字

さう

豪

早阜草艸草啁悼驛臬噪燥燥燥燥燥燥

燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥燥

搔搔搔搔搔搔搔造造造造造造造造造造造造

槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽槽

黠藻嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫嫫

旬息媿媿窓窓窓窓窓窓窓窓窓窓窓窓窓窓窓窓

搶搶搶搶搶搶搶創創創創創創創創創創創創創創

輦妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝妝

孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀

綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖綖

蒙叔駟驚齋以上モシ索ル字見エザルトキ

さう

有

巢傑塚凖凖凖凖凖凖凖凖凖凖凖凖凖凖凖凖凖

瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜瓜

崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢崢

音四

○二十

江

そシラう **侯** 奏湊棲膝痿蹠蹠夔洩搜艘艘

鏖鏖瘦瘦藪藪擻疎駮軟漱漱嗽嗽嗽嗽嗽

整走簇簇交倭皎皎鞍瘦取陬掬極緘誼趣顛

**緇** 剽謹シラ **登** 曾僧增憎憎憎贈贈贈贈贈

黜削艶翻曹曹鬢層癯冬 宋宗宗棕棕棕棕棕

猓綜寘繫惜 **東** 忒忽惚惚惚惚惚惚惚惚惚惚惚

總總認認認認葱葱窓窓懸懸醜醜凶惚惚總總懸懸

俊竣竣俊竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣竣

菱髮叢叢儗儗敷藜藜嵩嵩崇鏖刺密敵送贈 **蒸** 嶒

礨禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮

礨禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮禮

そシラふ **合** 盍 雜嘩確雜確轟叩叩沛趣部郵迎匝慘

透透颯卅并嚙踏踏都垂僮唾捶躄黻零謔藝噦

奶及及及及及及及及及及及及及及及及及及及及及及及

さシラふ **洽** 狎 雨俾啍啍挿挿諄諄軟軟屣屣蹶蹶蓮蓮

籊越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越

踳踳萋萋走捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷

そシラふ **緝** 聃 集執習十翌 **葉** 葉攝涉 猶下志ふ條せふ、  
條ニ就テ檢ルベシ

志シラふ **尤** 周媯稠稠朝那鬣秋啾啾湫湫湫湫湫湫湫湫湫湫湫

聶鞅歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟歟

琇守狩州洲酬洲修修脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩脩

收收餐售雉犢

東 東

讎孽就儼就驚就囚洎躬岫岫袖脯繡舟臭殍  
獸羞韃宿酒迺醜菟醜髻首嶄媼措憎燿燿緇  
趙觴韃韃道醜百首頤頤瀆按蛟趨酸鏖鏖餃  
駝郊嫂造造搜搜搜搜搜搜瘦瘦帚趁慘手陬掬  
緬鞞邛邛菽菽廢穰驟剝鄴壽壽鄴散穀靚咒祝  
受受授授設郊倘搗網網糊糊調鞠駟鄒鞞篤  
**東**終終終終終終終終終終終終終終終終  
琬琬琬琬荒荒徭徭娥娥蛾蛾髮髮**鍾**從從誦  
械絨駮戎戎戎戎**尤**柔柔揉揉揉揉揉揉揉揉  
縣錄縣縣縣縣縣縣縣縣縣縣縣縣縣縣縣縣  
猶下志よう條二  
就テ檢ルベシ

嵩

志ふ

ソラ

**緝**十什汁卅拾集噤漶縹集集執執執執執

塾執習習習習習習習習習習習習習習習習  
誦解輯計葺葺擊戢噉噉噉噉噉噉噉噉噉噉  
溼隰濕濕濕濕濕濕濕濕濕濕濕濕濕濕濕濕

志や  
志より

陽

昌倡唱猖瑁福鯧鮒菖閭章障障障障障

廠警驚常鶻掌定嘗嘗贍裳賞償向珣餉痾墻嬌  
檣牆牆牆牆牆牆牆牆牆牆牆牆牆牆牆牆牆牆  
漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿漿  
裝裝莊莊莊莊傷傷場場場場場場場場場場場場

音四

〇二十二



懼澀繩繩繩洗洗  
ニジカ鍾茸揖揖揖輯輯茸茸  
穠禮饗耗耗允允  
ニヨウ肉拍解戒軒  
ニヨウ蒸仍仍仍

初訥訥乃乃訥訥

セウ

**宵**

召召召昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭

詔詔詔韶韶韶邵邵邵邵邵硯照照照照照照照照照照

鈔鈔尒肖肖肖肖肖肖肖肖肖肖肖肖肖肖肖肖肖肖

梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢梢

宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵宵

舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛舛

樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵樵

コノ四子ハマタニ其音

笑咲篠筱篠椒椒燭燭燭燭燭燭燭燭燭燭燭燭燭燭燭燭燭

セフ

**葉帖**

妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾妾

鞞鞞選屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨屨

捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷捷

嬰嬰聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃

セフ

**葉**

葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉

摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺摺

顛

**葉**

聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃聃

○九行之假字

音圖

〇二十四

コノ葉ノ韻ノ下ニ連  
スルモノハ三十九音  
ノ三音ニ属スルモノ  
コレハ断然ト区

者彙和行于

錫	揚	帑	江	嚏	憧	撞	撞	幢	幢	鐘	鐘	憶	懿	湊	椿	椿	椿
者	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚
有	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉
鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛
腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦
儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻
と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と
と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と

錫	揚	帑	江	嚏	憧	撞	撞	幢	幢	鐘	鐘	憶	懿	湊	椿	椿	椿
者	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚	靚
有	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉	掉
鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛
腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦
儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻
と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と
と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と	と

慍



狃 鈕 紐 鈕 鈕 邛 菴 菴 徠 徠 徠 徠 凡 東 中 冲 冲

冲 种 狎 鴨 忠 虫 虫 虫 虫 虫 虫 鐘 重 墮 墮 墮 墮 鍾

鍾 腫 謹 鷓 虞 住 注 柱 柱 註 駐 駐 閏 莊 閏 株 株

蛛 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅 誅

住以下三十十字突ハチ也ナレドモ常ニチリト引テ呼ブ故ニコ、ニ出ス

ちふ 緝 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮 紮

ちやう 陽 長 俵 張 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳 帳

甄 萘 痕 贅 漲 場 腸 場 暢 暢 暢 暢 暢 暢 暢 暢 暢 暢 暢 暢 暢 暢

ちやう 耕 丁 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋 疋

訂 訂

溥 溥

艇 艇

經 醒 錚 逞 筮 榿 蛭 貞 偵 隕 漬 楨 禎 頰 遠 郎 定 掟 錠

頰 聽 廳 奠 鄭 甄 屨 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎 鼎

穀 窺 閉 陽 娘 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃

江 濃 膿

鷓 麩 褻 儂 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃 孃

ちよう 鍾 重 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮 墮

趨 寵 齶 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭 傭

夂 焚 叢 農 儂 濃 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿 膿



扞

登能

侯

擩擩 孺孺 譟譟 醜醜 陟乳 胤胤 乳乳 紉紉 榘榘 穀穀

てう

肴

朝嘲 潮潮 翰翰 兆兆 桃桃 眺眺 眺眺 眺眺 眺眺 眺眺

桃桃 眺眺 眺眺 眺眺 眺眺 眺眺 眺眺 眺眺 眺眺 眺眺

晁晁 凋凋 凋凋 凋凋 凋凋 凋凋 凋凋 凋凋 凋凋 凋凋

怛怛 矧矧 矧矧 矧矧 矧矧 矧矧 矧矧 矧矧 矧矧 矧矧

帕帕 帕帕 帕帕 帕帕 帕帕 帕帕 帕帕 帕帕 帕帕 帕帕

條條 條條 條條 條條 條條 條條 條條 條條 條條 條條

獠獠 獠獠 獠獠 獠獠 獠獠 獠獠 獠獠 獠獠 獠獠 獠獠

てふ

葉

牒牒 牒牒 牒牒 牒牒 牒牒 牒牒 牒牒 牒牒 牒牒 牒牒

禡禡 禡禡 禡禡 禡禡 禡禡 禡禡 禡禡 禡禡 禡禡 禡禡

黠黠 黠黠 呬呬 呬呬 呬呬 呬呬 呬呬 呬呬 呬呬 呬呬

塾塾 塾塾 塾塾 塾塾 塾塾 塾塾 塾塾 塾塾 塾塾 塾塾

喋喋 喋喋 喋喋 喋喋 喋喋 喋喋 喋喋 喋喋 喋喋 喋喋

駮駮 駮駮 駮駮 駮駮 駮駮 駮駮 駮駮 駮駮 駮駮 駮駮

蒼蒼 蒼蒼 蒼蒼 蒼蒼 蒼蒼 蒼蒼 蒼蒼 蒼蒼 蒼蒼 蒼蒼

○な行之假字

なり

庚青

寧寧 寧寧 寧寧 寧寧 寧寧 寧寧 寧寧 寧寧 寧寧 寧寧

乃う

冬

農農 農農 農農 農農 農農 農農 農農 農農 農農 農農

農農 農農 農農 農農 農農 農農 農農 農農 農農 農農

氈氈 鬣鬣 控控

音図

〇二十八



孺

猶ちゆう。志よう。兩條見合スベシ。

**虞**

乳

常柔以下實ハ小也ナレドモ呼フ故ニ出ス

○古板本法華經壽量品。質直意柔。輒又柔。和質。蘇者ト見工。和名鈔。酥密類ニ乳酪。迹。字能可遊。ナド見エタリ。又師云雅。亮裝束抄ニ主志う。天正本千金方ニ寬裕。寬永本千。字文ニ異等見ユ。柔乳ニウト同例ノ和音ナリ云云。

小

緝入廿

○**乙**行之假字

豪

保

保 保 保 保 堡 堡 堡 堡 寳 寳 寳 寳 抱 抱 抱

柳 忤 忤 忤 忤 蚌 蚌 蚌 蚌 培 培 降 降 降 降 逢 逢 逢 逢 擊 擊 齒 齒

龐 陽 方 仿 仿 妨 坊 防 防 妨 妨 妨 妨 妨 妨 妨 妨 妨 妨 訪 訪 訪

鈔 鈔 鈔 鈔 放 放 放 放 旌 旌 旌 旌 芳 芳 房 房 雫 雫 雫 雫 旁 旁 傍 傍 傍 傍

膀 膀 膀 膀 磅

匏

匏 匏

餘 爆

榜 榜

併 勅 耕 甍 瞞 陽 亡 亡 亡 亡 忘 忘 忘 忘 忘 忘 忘 忘 忘 忘 忘 忘 忘 忘

邛 芒

輞 調

媿 媿

相 相

音圖

〇三十

亨 忍 烹 烹 誤

○圖點ヲ加ヘスル六  
字ハ東送ノ韻ハ  
三筆ニ収リタル字  
トモシテ  
音

輓耄菽務蔓  
有卯泖茆茅鵠螯犛白幘貌

ほう ホウ 東鍾奉俸捧捧捧奉丰伴珥舛絳峯律烽

烽烽烽烽烽鋒鋒鋒逢逢逢縫縫縫縫縫逢逢逢逢逢

峯峯峯逢逢封封封封封紮紮豐豐豐豐豐禮禮禮豐豐豐

汎汎汎梵鳳風風風風風風風風風風風風風風風風風

馮馮登朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋朋

剖剖剖剖剖鵠鵠培培培培培陪陪陪陪陪陪陪陪陪陪陪

衰杯飴東夢悽鄭鄭艷艷艷艷夢寢普普蒙蒙蒙蒙蒙

矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇矇

霧寧醞登蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓蔓  
腫脗脗脗脗脗

牟侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔侔

繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫繫

藪某謀戊茂莽貿鄧杜畝畝畝畝畝畝畝畝畝畝畝畝畝畝

ほふ フハフ 之法祛灑之妣ほふ ヒラ 緝皂鵠 コハ別行トスギ

ひやう ヒヤウ 清耕兵伉伉伉平伉平伉平伉平伉平伉平伉平

砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵砵

餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅餅

頰筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭筭

病病粵傳娉聘徬鞞蠱覺 フヘイ 靜丙柄柄柄柄柄柄柄

音四

〇三十一

○ 蒙  
モウ  
モウ  
モウ  
モウ  
モウ  
モウ  
モウ

窈秉 宵 苗 猫 描 猫 猫 猫 庙 庙 庙 妙 妙 妙 妙

妙 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇 眇

ひよう 馮 馮 馮 馮 馮 馮 馮 馮 馮 馮 馮 馮

糊 霧 幽 繆 繆 繆 繆 繆 繆 繆 繆 繆 繆

宵 表 儀 袿 杓 豹 豹 票 票 票 票 票 票 票

標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標

飄 飄 飄 飄 飄 飄 飄 飄 飄 飄 飄 飄 飄 飄 飄

庶 儻 儻 儻 儻 儻 儻 儻 儻 儻 儻 儻 儻 儻

○ 主行之假字

陽 亡 亡 亡 亡 亡 亡 亡 亡 亡 亡 亡 亡 亡

砒 銍 氼 睞 寤 慌 望 望 望 罔 惘 惘 罔 罔

網 莽 泮 泮 泮 泮 泮 泮 泮 泮 泮 泮 泮 泮

庚 耕 孟 猛 猛 猛 猛 猛 猛 猛 猛 猛 猛 猛

箇 蔓 撻 撻 撻 撻 撻 撻 撻 撻 撻 撻 撻 撻

蒙 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛

蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙

蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙

明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明

冥 冥 冥 冥 冥 冥 冥 冥 冥 冥 冥 冥 冥 冥

宵 苗 苗 苗 苗 苗 苗 苗 苗 苗 苗 苗 苗 苗

音図

○ 三十二





療醫蓼蓼了初舩料料救管甥辟操蒸樵杓療

せふ

コフ葉

鼯獵獵獵獵獵獵獵獵獵獵獵獵獵獵獵

劑籬鬣獾蛟

ラフ帖

甄耳啣黙

○志ぢ之假字

志トヂトヂトマカフコトオホシ  
故今常呼濁音ノ假字ヲワカチテ舉グ

志

シゴジ支脂之

介尔邇兒兒二式貳臧耳俱呬洱

珥胥珥緝詈酣鉅餌駉則眈眈眈暗聾聾

而陌岫岫沔岫岫岫岫岫岫岫岫岫岫

婁

齊難朕

ネイ海

病

ネイ脂之

自事傳割重壘示眎視

寺侍侍侍時時待待待待待待待待待待

茲噉噉噉噉噉噉噉噉噉噉噉噉噉噉  
似似似似似似似似似似似似似似似似

ぢ

ヂ脂之

持峙時時時時時時時時時時時時時

治地墀墀墀墀墀墀墀墀墀墀墀墀墀墀

ヂ支脂之

齊尼呢坭泥泥

惛惛惛惛惛惛惛惛惛惛惛惛惛惛

鞞爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾爾

ネ佳

姝孀梔親說

チ魚

除

チ除目ナド

チ出ス

チ虞

チ柱

チ琴柱ナド

ぢ

ヂ麻

若婁惹吟

ヂ麻

蛇蛇蛇蛇蛇蛇蛇蛇蛇蛇蛇蛇

麝闍柘邪菝鈺苻苻余斜斜耶椰椰鄒爺祖社益

ぢ

ヂ歌

佗陀陀陀陀陀陀陀陀陀陀陀陀陀陀

音四

〇三十五



鮑駝鮑迤陀駄駄馳駝驛爹蠹

**志也**

ズウ

**尤**

ユウ

壽

シウ

醜

シウ

鄒

シウ

敷

シウ

靚

シウ

受

シウ

授

シウ

設

シウ

就

シウ

咒囚掇驟

シウ

候

シウ

顛

シウ

踈

シウ

鄒

シウ

聚

シウ

驟

シウ

鄒

シウ

獅

シウ

堅

豎豎痘痘封澍樹需縹縹

シウ

縹

シウ

縹

シウ

縹

シウ

縹

シウ

縹

シウ

縹

シウ

縹

シウ

縹

シウ

縹

孺孺孺孺孺孺孺孺孺孺孺

シウ

孺

シウ

孺

シウ

孺

シウ

孺

シウ

孺

シウ

孺

シウ

孺

シウ

孺

シウ

孺

トノトキキ也ト呼

ブユエニイダス

ニフ

**緝**

キ志フナレドモ入内ナドノト

キ志もト呼ブユエニイダス

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

**ぢ**

チッチ

**尤**

チッチ

儔

チッチ

儔

チッチ

儔

チッチ

儔

チッチ

儔

チッチ

儔

チッチ

儔

チッチ

儔

チッチ

儔

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

趾柱廚櫛躑踯踴

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

チッチ

**志**

シウ

**魚**

シウ

女

シウ

汝

シウ

妝

シウ

教

シウ

教

シウ

如

シウ

如

シウ

如

シウ

如

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

シウ

紮

紮

シウ



剔	余	ぢ	ぢ	籍	藥	志	ぢ
由	耀	や	碩	籍	雀	や	虫
迪	翟	く	碩	踏	鵲	く	虫
邨	羅	く	碼	郝	結	く	虫
頓	羅	く	碼	席	縶	く	虫
苗	超	く	射	迹	昔	く	虫
笛	選	く	麤	迹	昔	く	虫
篠	籜	く	塔	跡	昔	く	虫
篠	狄	く	塔	迹	昔	く	虫
宅	狄	く	塔	迹	昔	く	虫
頃	歛	く	塔	迹	昔	く	虫
個	歛	く	塔	迹	昔	く	虫
覺	歛	く	塔	迹	昔	く	虫
濁	忿	く	塔	迹	昔	く	虫
燭	恟	く	塔	迹	昔	く	虫
燭	惕	く	塔	迹	昔	く	虫
韻	惕	く	塔	迹	昔	く	虫
蜀	惕	く	塔	迹	昔	く	虫

音四

〇三十七

志	ぢ	腮	瞬	眉	匈	醇	ぢ	ぢ
虫	虫	腮	俊	循	詢	鶉	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫
く	ん	腮	俊	循	詢	順	む	虫

〇三十七





俗音との差別ケチを毎字ゴゴトの下に示しべきである。故正訛の差  
ぶくーかるべき。すべて皆辨を畧々也。故正訛の差  
別ハ説文廣韻等の切字。並韻鏡の所屬ふ就て知るべき  
そのぞ。

○韻ノいカ之假字

**い**

あいかいさいたいふいまいまいやいらいわいえい

けいせいいていねい魚いめい魚いれい魚い等い韻の諸

字どもハ阿緯衣緯ニ限るはうと所以あり阿を能生喉

内開音ふ依故ニ其緯をべて開音をかめるあり但エ合音あれども

予カニ對まれば聊軽く猶開音ニ近き故ニ開音のいと韻とに夜を所生舌末の音よてあれも

亦開音ふ依故ニ其緯をべて開音ふ屬但エを經ニ就て論をうととせ合

音あれども緯ニ依て辨故舌本開音のいと韻とを事自然

の呼勢ニ然て上音イキシチニヒリ井等の声小いの

韻此字あさハ其音重カサふせる如くある故但師説

此ハ韻めりニあしともいひうし類聚名義鈔ニ和音とて智チ毗イ備イ時ジイ等あり四支韻ニを古く此音あり

既く廢きたるものふふべし但此音の中ニ詩歌ニ至孝ぶどハ後世中でも傳ハせるあり猶此事ハ碩鼠漫筆ニ委

くハをるるべし此ハ韻漢土ニを名義鈔ニ和音とあるべしはて

るわいくわいをわいはわいぬわいふわいむわい

もわいるわいうわい等の諸音を有緯のウクスツヌフ

ムユル于等ニ就てカの假字々ともたもふ登々れど凡

て韻ハ上ノ音の韻ハあれば、あれらと皆わノ音の韻ハある  
故ニ既ニ辨へたる上ノ音阿緯の諸字の格ニて、ハの假  
字あり。但此假字のことハ、用格ハ和名鈔を引證して  
示されども、猶定格を以て論をとさハ、萬音小わり  
て誤つらとふらふべしとて、いふあり。

**カ** カみカわカくカおカをカおカけカねカぬカわカふカわカむカわカぬカわカるカわカうカわカ等カ上ノ  
音ウクスツヌフムユル于の諸字此韻。和行のわある故  
をウカをカ所生唇本合音あれば、其緯のクスツヌフムユル  
于等凡て合音ニ属ス。然てワカをカウカアカ和合して生カめる所  
の唇内合音ある故ニ、和行のわを韻とせむること、共ニ唇

内合音あるよりてあり。但、カ對等の字をツイと呼ぶ  
を中略音ふて、正音ニあらざること、用格ハ見カて  
實をツロイの音あること、委々ハ附説卷下三十一ニ辨せ  
るを見るべし。

○拗音下中之假字 上イ緯下ヤ行 上ウ緯下ワ行 小限る事

**ヤ** ヤいヤまヤやヤまヤちヤやヤちヤふヤやヤひヤやヤみヤやヤひヤやヤまヤやヤわヤいヤやヤうヤ  
まヤやヤうヤまヤやヤうヤちヤやヤうヤふヤやヤうヤひヤやヤうヤみヤやヤうヤひヤやヤう

ハやハうハわハやハう ハノ韻の属も同  
ぢやうふんハ畧ス

**ウ** ウいウまウやウまウちウやウちウふウやウひウやウみウやウひウやウまウやウわウいウやウうウ  
いウやウまウやウちウやウちウふウやウひウやウみウやウひウやウまウやウわウいウやウうウ



一と二言に呼ぶ韻とありて中とあるらばこれをイレンキン  
 等を拗音ふ呼ぶべき格あれども阿行のいよ親しき音  
 あれば拗音鹽梅あらばさと呼びがら故にや次音の  
 イレンキン等のも常呼とせし。但上ノ音ハ<sup>ハ</sup>緯あるハ下中の假字<sup>ハ</sup>な  
 して上ノ音<sup>ハ</sup>緯あるハ下中の假字<sup>ハ</sup>な  
**わ**くわくわいくわんくわうくわくくわい。上ノ音ウ<sup>ハ</sup>スツマフ  
同ト格也。但上ノ音ハ外の拗音ハ常呼とせるものもあられん。それを悉く舉むハわ  
 づらひしてあるらば畧多し。詳ハ其條々の細書音註を見てしるべきあり。  
**ゑ**くゑくゑいくゑんくゑき。これも前  
條と同ト。  
**と**くをくをんくをうくをつくをく。これも  
これら  
 以上拗音上の声ウ<sup>ハ</sup>緯あるハ下中の假字<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>限せり。  
**但**お<sup>ハ</sup>うを阿行のいよふ近き音あれバ<sup>ハ</sup>ウ<sup>ハ</sup>エ<sup>ハ</sup>ヲとハひと

一おとにあらざるごとし。此條又辨つたふら如し。然て  
 拗音の上ハ声<sup>ハ</sup>緯あるハ下中の假字<sup>ハ</sup>ヤ<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>限せり  
 故をヤをイ<sup>ハ</sup>ア<sup>ハ</sup>和合して生る所の声あれバ<sup>ハ</sup>お<sup>ハ</sup>又上  
 の声ウ<sup>ハ</sup>緯あるハ下中の假字<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>限せり。七<sup>ハ</sup>ウ<sup>ハ</sup>  
 ア<sup>ハ</sup>和合して生る所の声あれバ<sup>ハ</sup>お<sup>ハ</sup>凡て拗音の上ハ  
 声をイ<sup>ハ</sup>緯<sup>ハ</sup>ウ<sup>ハ</sup>緯<sup>ハ</sup>限せり事ふて下中の假字<sup>ハ</sup>をヤ<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>  
 のもよて他ハ緯<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>経<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>ず<sup>ハ</sup>故<sup>ハ</sup>ハ元<sup>ハ</sup>来<sup>ハ</sup>ヤ<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>  
 所生の音<sup>ハ</sup>あれバ<sup>ハ</sup>お<sup>ハ</sup>又韻鏡開轉<sup>ハ</sup>ハ<sup>ハ</sup>諸字<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>上<sup>ハ</sup>イ<sup>ハ</sup>  
 緯<sup>ハ</sup>下<sup>ハ</sup>中<sup>ハ</sup>ヤ<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>よて合轉<sup>ハ</sup>ハ<sup>ハ</sup>諸字<sup>ハ</sup>ハ<sup>ハ</sup>上<sup>ハ</sup>ウ<sup>ハ</sup>緯<sup>ハ</sup>下<sup>ハ</sup>中<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>  
 あり。是<sup>ハ</sup>イ<sup>ハ</sup>を舌本開口音<sup>ハ</sup>よてウ<sup>ハ</sup>を唇本合口音<sup>ハ</sup>あれバ<sup>ハ</sup>な





